



夏の太陽に負けないヘアケア

紫外線の影響で髪のキューティクルがはがれると、髪内部のタンパク質が流出して、毛髪が空洞化します。カラーが落ちやすい、髪がパサつく、スタイリングにくい、そんな人は要注意。傷んだ髪は毎日のケアで補修しましょう。

頭皮ケア | クレンジングで毛穴からスッキリ!

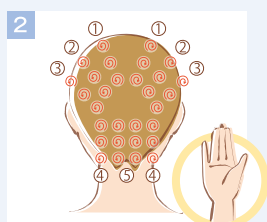
夏の頭皮は紫外線の影響で乾燥し、多量に分泌する汗や皮脂の影響で不潔な状態に。

「クレンジング」

Cleansing



頭皮全体にクレンジングジェルを塗布し、指の腹でなじませます。
※3日に1回位が目安です。



①～⑤の順に3指(人さし指・中指・薬指)の指の腹でマッサージします。



ホットタオルまたはシャワーキャップをかぶり、約3～5分後ぬるま湯ですすぎます。※湯用につかるとスチーム効果が高まります。

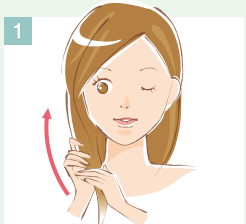
+ 「シャンプー」 髪や頭皮に負担の少ない低刺激処方ものを選びましょう。 Shampoo

毛髪ケア | トリートメントで髪に栄養補給!

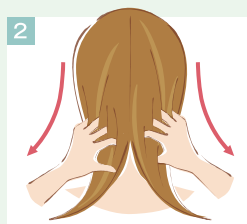
紫外線によりキューティクルがはがれて傷んだ髪は、海やプールで髪がぬれると更に深刻に。

「トリートメント」

Treatment



傷みの多い毛先から中心にかけて塗布します。



根元から毛先に指を通してなじませます。



髪内部までしっかり浸透させるために、5分ほど放置します。

+ 「ローション」 頭皮の乾燥が気になる時は、ローションでしっかり保湿しましょう。 Lotion

知っておくべき
カラー剤のこと

ホームケア + サロンカラー = ツヤサラの夏髪

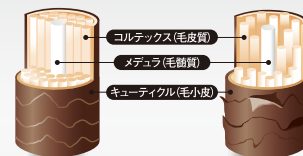
ホームカラーは危険!? 髪を健康を徹底検証

夏が近づき、髪色も明るめにシフトしたくなる頃。でも、お家でのカラーリングはちょっと待って!市販のカラー剤には化学物質を多く含むものもあり、その化学物質が環境ホルモンとして問題視されています。環境ホルモンは、体内の正常なホルモンに悪影響を与え、子宮収縮や不妊、乳ガンなどを招く恐れがあると言われています。またホームカラーは髪の状態に合わせて塗り分けることができないため、染まりムラができ、ダメージや色落ちなど様々なトラブルが生じてしまいます。

美容師によるサロンカラーでは、明るさや色味、ダメージの度合に合わせて微調節しながら施術します。施術前に頭皮をカラー剤から保護したり、褪色防止のケアをしたり、施術後は髪に残ったアルカリ成分を除去したり、頭皮や髪のことを考えてケアしながらカラーリングを行うサロンもあります。

身体や髪を健康、そして美しい仕上がりのために、カラーリングは髪のプロに任せるのがおすすめです。

毛髪の三層構造



健康な髪

キューティクルが整い、髪の内側にあるタンパク質や水分が詰まっている状態。

傷んだ髪

キューティクルがはがれ、タンパク質や水分が流出してスカスカの状態。

あなたの **ホームカラーダメージ** は大丈夫!?

ダメージCheck ✓

- カラーが落ちやすい
- 頭皮がかゆく、フケが多い
- 色ムラがある
- 髪がパサつく、きしむ
- 枝毛・切れ毛が多い

WARNING
チェックが2つ以上の方は要注意!

マイクروسコープによる毛髪チェック

健康な髪

メデュラ(毛髄質)がしっかりしており、カラーやパーマの再現性が高い。



ダメージの髪

ダメージが髪を中心まで進行。メデュラ(毛髄質)が切れ切れでカラーやパーマの再現性が悪い。通りになりにくく、持ちも悪い。

ハイダメージの髪

メデュラ(毛髄質)が確認できない。カラーやパーマの再現性が低く、持ちが悪い。

ダメージヘアはカラーやパーマだけでなく、スタイリングにも影響が及びます。